

# 教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書

提出 令和6年 8月 30日

亀山市議会議長 森 美和子 様

## 請願者

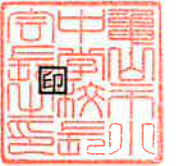
亀山市能褒野町77-22  
亀山市PTA連合会

85-0108

会長 佐久間 淳司 

亀山市両尾町2124  
亀山市小中学校長会

85-0009

会長 石橋 明 

亀山市上野町14-11  
三重県教職員組合鈴鹿亀山支部

82-0612

支部長 谷口 哲也 

## 紹介議員

森 英之  
岡本 公秀  
櫻井 清蔵  
古田 吉昭  
服部 孝規

請



## 【請願趣旨】

2021年4月、小学校における国の学級編制の標準が40年ぶりに改善されましたが、学校現場の人的配置の充実の声は反映されず、中学校の学級編制の標準や特別支援学級、特別支援学校の学級編制基準、高等学校等の教職員定数の標準の改善についての道すじは示されていません。

また、全国的に「教職員不足」、「教職員の未配置」の問題が深刻化しています。三重県においても2023年度以降、4月当初から欠員が生じており、その状況は学期を追うごとに深刻化する傾向にあります。

当然満たされるべき定数の教職員が学校現場に配置されていない現状は極めて深刻であり子どもたちの教育にも直接影響をおよぼす課題であり、教育現場の多忙化をさらに深刻化させるものです。教職員が心身ともにゆとりをもって子どもたちとおきあい、日々の教育活動を創り出していくことは、子どもたちの「豊かな学び」の保障につながります。子どもたちが安全・安心に学べる学校としていくためにも、教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行およびすべての校種における新たな教職員定数改善計画の策定と実施が強く望まれます。

一方、物価等の生活費の高騰により、家計の厳しい状況がつづいています。教育のICT化にともなう機器の整備費や通信費等の保護者負担も生じています。教育費の公財政支出を充実させ、保護者負担の軽減を図ることは喫緊の課題です。

教育予算を拡充し、教育条件整備をすすめていくことが、山積する教育課題の解決へとつながり、そして、子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することになると考えます。

以上のような理由から、教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を強く切望するものです。

## 【請願事項】

子どもたちの「豊かな学び」の保障におけ、教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充をおこなうよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。